No.469

JR四国

NEWS

2026 11

|特 集|

- JR四国が手掛けるオリジナルブランド商品!
- 「落とし物クラウド find」を導入しました!

Monthly Picks 今月の注目情報!

JR四国3600系が「2026年度グッドデザイン賞」を受賞!

3600系の情報はこちらから

JR四国と近畿車輌が共同開発した新型車両「JR四国3600系」が、「2026年度グッドデザイン賞」を受賞しました。3600系は、JR四国初のハイブリッド式ローカル車両です。環境性能や快適性、安全性の向上に加え、四国の豊かな風景に調和するデザインや、誰もが利用しやすく長く使い続けられる車両づくりを追求しています。今回の受賞では、車両そのものが四国の魅力を発信する存在であることや、四国の鉄道を未来へつなぐ取り組みが高く評価されました。

ぜひ、四国を走る3600系にご乗車いただき、その魅力を体感してください!



徳島運転所車両基地

※グッドデザイン賞受賞を証明する「Gマーク」を掲出して運転するのは、 2026年11月4日までの期間限定です。

JR四国列車運行情報
www.jr-shikoku.co.jp/info/select/

Featured
特集

JR四国が手掛ける オリジナルブランド商品！

JR四国では、飲食・物販セグメントのさらなる事業拡大に向け、四国ならではの魅力を活かしたオリジナル商品の企画・開発に取り組んでいます。その新たな取り組みとして、2025年6月からセーラー広告グループと商品開発プロジェクトをスタート。2026年2月、JR四国オリジナルブランド「O'SHIKOKU」が誕生しました。今後は商品の開発・販売を通じて、四国の魅力を発信するとともに、四国外への販路拡大も目指します。

JR四国オリジナルブランド「O'SHIKOKU」のご紹介

「O'SHIKOKU（おーしこく）」は、「おっ！からはじまる四国」をコンセプトに誕生したJR四国オリジナルブランドです。「新しい」と「なつかしい」を掛け合わせ、思わず「おっ！」と心が動くような商品やサービスを届けることを目指しています。ブランド名には、「Oishi（おいしい）」「Odoroki（驚き）」「Omoshiroi（おもしろい）」「Omotenashi（おもてなし）」「Original（独自性）」など、四国のさまざまな「O」を込めました。明るく、楽しく、おもしろく、気持ちがアガる。そんな新しい四国の魅力を発信していきます。

おっ！からはじまる四国
O'SHIKOKU



「別撰別子飴」のご紹介

ブランド第1弾として2026年3月に発売したのが、愛媛県新居浜市の別子飴本舗と共同開発した「別撰別子飴」です。1926年に誕生し、長く愛されてきた「別子飴」の伝統製法を活かしながら、四国の素材を組み合わせ、新たな味わいに仕上げました。現在は「塩みるく（伯方の塩）」「濃厚いちご（さぬきひめ）」「かぶせ茶（新宮茶）」の3種類を展開。手に取りやすい価格・容量としながら、おみやげとしても楽しめる、O'SHIKOKUらしい明るいパッケージも特徴です。

新フレーバー「レモンジンジャー味」を発売！

9月18日に、「別撰別子飴」の新フレーバー「レモンジンジャー味」を発売しました。高知県産生姜とレモンを組み合わせ、ミルクのやさしい甘さ、レモンのさわやかな酸味とほろ苦さ、最後に生姜のほのかな辛みへと、一粒の中で味わいが変化する仕立てです。これまでの別子飴にはなかった新しい味わいで、素材それぞれの個性を楽しんでいただける商品となっています。



担当者の想い

「O'SHIKOKU」を通じて、四国にはまだまだたくさんの魅力的な素材や商品、そして生産者の方々がいることを、多くの方に知ってもらいたいと考えています。地域の素材や伝統をそのまま商品にするのではなく、そこに新しい発想を掛け合わせ、「おっ！」と思ってもらえる商品を生み出すことが私たちの役割です。まずは四国の皆さんに支持されるブランドを育て、将来的には四国外にも四国の魅力を届けてゆきたいと思います。

事業開発本部「O'SHIKOKU」開発チーム



Featured 特集

いつでもどこからでも落とし物の問い合わせが可能に！「落とし物クラウド find」を導入しました！

列車内や駅でのお忘れ物は、誰もが一度は経験する身近な困りごとです。JR四国では、お客様により安心して鉄道をご利用いただくため、2026年10月から「落とし物クラウド find」を導入しました。

本システムの導入とともに、24時間お忘れ物のお問い合わせが可能となる「find chat」サービスの運用を開始し、お忘れ物のお問い合わせがこれまで以上にスムーズで便利になりました。

導入の背景

JR四国の落とし物取扱い件数は、年間約40,000件に上ります。

従来の遺失物システムでは画像情報が含まれていなかったため、お客様からのお問合せに対し、落とし物の特徴を詳細に確認し、照合する作業に多くの時間を要していました。また、お問い合わせ方法は電話・駅窓口しかなく、お客様に心理的なご負担やご不便をおかけしていることが課題となっていました。

これらの課題への対応を図るとともに、お客様により安心して鉄道をご利用いただけるサービスを提供するため、「落とし物クラウドfind」の導入に至りました。

「落とし物クラウド find」とは?

AIを活用した遺失物管理システム

システム上に画像登録ができるようになり、お客様からのお問い合わせによりスムーズに照合・回答ができるようになります。また、登録作業では落とし物の画像をAIが認識し、特徴情報のシステム入力を補助することで、駅係員の負担軽減も図っています。

24時間受付の「find chat」

JR四国の列車内や駅でのお忘れ物は、24時間受付の「find chat」でお問い合わせいただけます。オペレーターがお問い合わせ内容を確認し、落とし物のお預かりについて回答いたしますので、お客様がいつでも・どこからでもお問い合わせできる環境を整えました。

「横断検索」サービス

JR四国は、複数の交通事業者や施設にまたがるお忘れ物を一度のお問い合わせでまとめて照会できる「find chat」の「横断検索」サービスにも対応しています。本サービスに参画している事業者間であれば、1度のチャットでJR四国以外でのお忘れ物もお問い合わせができるため、お問い合わせの手間を軽減できます。

JR四国管内 忘れ物TOP3



1位：財布・現金



2位：傘



3位：イヤホン

「find chat」からお忘れ物をお問い合わせ



「find chat」でのお問い合わせはこちらから

お問い合わせ画面イメージ





担当者の想い

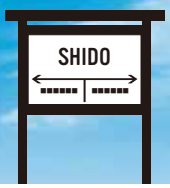
お客様サービスの向上および駅業務の効率化を目的として、「落とし物クラウドfind」を導入しました。お忘れ物をされないことが何よりですが、万が一、JR四国の列車内や駅でお忘れ物をされた際は、「find chat」でお問い合わせください。

営業部業務マネジメント課 千崎社員



沿線通学生
寄稿コーナー
第17回

MY STATION
香川県立志度高等学校





このコーナーは四国の通学生のみなさんに鉄道に親しみをもっていただこうと企画しました。

最寄駅 志度駅

四国家のお宝 ～途中下車ぶらり旅～授業を通して

玉越（たまこし） 恵那（えな）さん（3年）



JR四国と共同で考えた志度駅での「途中下車ぶらり旅」の授業を通して、鉄道は人を運ぶ手段であるだけでなく、地域の魅力を知るきっかけにもなることを学びました。実際に志度をくまなく歩き回ったことで、駅周辺の景色や町の雰囲気を直接感じることができ、町がこれまで以上に身近に感じられました。

特に印象に残ったのは、通学で通り過ぎるだけでは分からない町の空気や新たな発見に触れられたことです。この経験から、移動を計画する際には目的地までの効率性だけでなく、地域とのつながりを意識することも大切だと実感しました。また、地域の魅力を多くの人に知ってもらうには、目的地だけでなく途中で降りてみたくなる工夫が必要だと感じました。

今後は利用者としてだけでなく、地域の良さを発信する視点からも鉄道や観光を考えていきたいと思います。

山本（やまもと） 恵子（けいこ）さん（3年）



駅でふらっと降りたその先に、志度ならではの出会いがあります。志度駅周辺には、藤原不比等ゆかりの伝承にふれながら、五重塔や本堂の落ち着いた景観を味わえる志度寺や、さぬき市ゆかりの平賀源内にふれられる施設があり、歩きながら町の魅力をゆっくり楽しめます。志度駅は特急列車も停まるJR高徳線の駅として、途中下車の旅にも立ち寄りやすい場所です。

さらに志度湾周辺では源平合戦に関係する史跡があり、穏やかな海を眺めながら物語の舞台を想像できます。また、志度寺から伸びる道沿いには昔ながらの町並みが残り、歩きながら志度の歴史を身近に感じられます。

高校生の視点で考えたこの「途中下車ぶらり旅」の観光プランは、駅から遠くまで行かなくても、駅周辺の魅力をお届けします。みなさんも、いつもの移動を旅に変える、そんな志度駅での途中下車を楽しんでみませんか。

砥綿（とわた） 大輔（だいすけ）さん（3年）



志度駅を通学で利用している私にとって、駅は学校へ向かうための生活の一部です。朝は早朝練習に間に合うように列車に乗り遅れないことばかり考えたことや、くたくたになってベンチで休んだ思い出ばかりです。毎日ほぼ同じ時間に利用するので、新鮮さを感じにくく景色もゆっくりと見たことがありませんでした。

今回の授業「途中下車ぶらり旅」で利用すると、志度駅は単なる通過点ではなく、その土地と出会う入口になることが分かりました。駅周辺には志度寺や源内通りなどがあり、ゆっくりと歩くことで案内板や町の空気、お店にも自然と目が向きます。

地域の魅力を味わえる点も大きいことに気づきました。通学では効率と習慣が中心ですが、旅では発見と楽しみが中心になることが分かりました。志度駅周辺には観光マップが整備され、志度寺へ歩いて行けるほか、門前町の雰囲気も感じられます。実用の場として見るか、地域への入口として見るかで、駅の印象は大きく変わることをこの機会に学びました。

校長先生からひと言

香川県立志度高等学校　校長

馬場（ばば） 文彦（ふみひこ）先生



志度の歴史や文化、自然、人のあたたかさに触れられる魅力は、途中下車でこそ深く感じられます。本校商業科は町歩きツアーの商品化を通して地域のよさを再発見し、ふるさとへの誇りと人とのつながりの大切さを学びました。味わい深い時間が、また訪れたい思いにつながれば幸いです。

JR四国の先輩からメッセージ

高松電気区　観音寺駐在

金集（かなずみ） 建二朗（けんじろう）社員（2023年度 卒業）



在学時は情報科学科でコンピュータや電気について学び、友人との時間や学校行事を通して多くの思い出をつくることができました。現在は予讃線の詫間～伊予土居間の電気設備の点検や修繕を担当し、列車の安全・安定輸送を支えています。

高校時代の学びや経験は今の仕事にも生かされています。皆さんも今しかできないことに積極的に挑戦し、高校生活を楽しんでください。皆さんの活躍を応援しています。

志度高校の生徒さんが考案した「四国家のお宝～途中下車ぶらり旅～」は12月頃に「四国家のお宝」Webサイトで紹介予定!

詳細はこちらから→

ABOUT THE SCHOOL

香川県立志度高等学校

■〒769-2101
香川県さぬき市志度366−5
■生徒数：254名
■創立：1924年



列車の発着時刻、運賃・料金、鉄道企画商品に関するお問い合わせ
JR四国電話案内センター ☎0570-00-4592（しこくに）
（お客様がお使いの電話回線の種類によってはご利用いただけない場合があります。）
受付時間（年中無休）8:00~19:00
通話料がかかります。

スマえき
シコクを、おトクに。スマえきで。
「スマえき」はいつでもどこでもきっぷが買える、JR四国のチケットアプリです。

JR四国は国土交通省が主体で全国のＪＲや私鉄各社が取り組む「鉄道でエコキャンペーン」に参加しています。

発行:四国旅客鉄道株式会社 広報室
〒760-8580 香川県高松市浜ノ町8番33号